

年	コウノトリ	環境創造型農業	生息地保全	人材育成	環境経済	運動拡大
1965(昭和40)年	●人工飼育開始					
1971(昭和46)年	●野生個体絶滅					
1989(平成1)年	●種の保存・遺伝的管理 ●はじめてのひな誕生					
1992(平成4)年	●コウノトリ将来構想調査委員会発足					
1994(平成6)年	●第1回コウノトリ未来・国際かいぎ『コウノトリの野生復帰』					
1997(平成9)年		●アイガモ農法				
1998(平成10)年	●コウノトリ市民研究所設立					
1999(平成11)年	●県立コウノトリの郷公園開設	●有機農法の研究				
2000(平成12)年	●第2回コウノトリ未来・国際かいぎ『人と自然の共生』 ●市立コウノトリ文化館開設 ●コウノトリ基金設置 ●各種市民講座					
2001(平成13)年		●NPOと協働して転作田ビオトープ設置				
2002(平成14)年	●野生コウノトリハチゴロウ飛来	●水田魚道	●円山川水系自然再生	●田んぼの学校		●コウノトリ共生推進課設置 ●コウノトリの郷営農組合設立 ●コウノトリ野生復帰推進計画策定 ●コウノトリ翔るまると博物館構想策定
2003(平成15)年	●野生馴化訓練	●コウノトリと共生する水田自然再生事業(中干し延期・冬季湛水)(転作田ビオトープ) ●安全安心ブランド「コウノトリの舞」 ●市民農園		●豊岡市環境行動計画策定 ●市民環境大学		●コウノトリ感謝祭
2004(平成16)年	●放鳥拠点整備	●コウノトリと共生する水田技術研修会の開催	●【台風23号被害】緊急治水対策＋自然再生	●コウノトリ野生復帰学術研究補助制度(～2015) ●ふるさと三江を愛する会		

2005(平成17)年	●試験放鳥開始	●コウノトリ育む農法の確立と推進 ●コウノトリ舞い降りる田んぼづくりの推進			●豊岡市環境経済戦略策定	
2006(平成18)年		●コウノトリ育むお米生産部会設立(JA) ●田んぼの生きもの調査を通じた消費者との交流	●戸島湿地整備スタート	●子どもの野生復帰大作戦	●コウノトリ環境経済コンソーシアム設立 ●先駆的事業開発補助 ●豊岡市バイオマスタウン構想 ●コウノトリツーリズム	●ラムサール条約湿地登録への動き ●企業の参画 ●農林水産部をコウノトリ共生部に改称 ●同部にコウノトリ共生課を設置 ●同部農林水産部課に環境農業推進係設置 ●豊岡市環境基本条例制定
2007(平成19)年	●自然繁殖成功	●農地・水・環境保全対策開始	●加陽湿地整備スタート	●学校給食でコウノトリ育むお米を使用	●コウノトリ本舗	●他地域との交流 ●コウノトリ湿地ネット設立
2008(平成20)年	●放鳥＋自然繁殖	●コウノトリ育む農法アドバイザー養成講座(普及センター)	●田結湿地整備スタート	●豊岡市の記念日「生きもの共生の日」策定		●コウノトリ生育地保全協議会設立
2009(平成21)年	●放鳥＋自然繁殖	●他地域への拡大 ●【越前市】コウノトリ呼び戻す農法	●戸島湿地開設 ●大規模湿地管理 ●基金活用ビオトープ調査	●学校と連携したビオトープ活用生きもの調査事業 ●出張田んぼの学校	●豊岡市経済成長戦略策定	●ENEOSわくわく生き物学校 ●田結湿地での東大演習
2010(平成22)年		●【中国】JICA草の根技術交流事業 ●生物多様性を育む農業国際会議(ICEBA)開催		●コウノトリKIDSクラブ設立 ●環境のまちづくり専門員(生物多様性担当)配置		●生物多様性条約COP10での評価(機関紙SATOYAMA、TEEB報告書など) ●ラムサール湿地候補地に選定 ●市民会議・関係自治体会議 ●第4回コウノトリ未来・国際かいぎ「野生復帰がもたらすもの～コウノトリが紡ぐ いのち・地域・経済・文化～」
2011(平成23)年	●野生復帰グランドデザイン策定 ●他県へのペア移送(越前市)	●豊岡市農業振興戦略策定 ●冬期湛水環境直接支払	●小さな自然再生支援助成制度 ●ボランティアの日設定 ●生物多様性GIS導入	●生物多様性地域戦略策定作業(高校生委員6人登用)	●豊岡エコバレー構想	●ラムサール条約湿地登録へ ●大学単位認定講座の誘引開始 ●コウノトリ野生復帰推進計画(第2期)策定

2012(平成24)年		●コウノトリ育む農法アドバイザー研究会結成	●ラムサールダノンエビアンプログラム採択(2カ年)	●コウノトリKIDSクラブにKIDS+(プラス)を設置	●豊岡版エコポイント制度導入 ●環境経済事業の認定開始(PDF)	●円山川下流域・周辺水田」がラムサール条約湿地に登録(H24.7) ●ラムサール条約湿地登録 ●ラムサールCOP11(ルーマニア)に参加
2013(平成25)年	●野生コウノトリが韓国へ渡る ●IPPM(ニホンコウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル設置)	●豊岡農業スクール開講	●生息地ネットワーク保全管理作業員を配置 ●加陽湿地拠点整備・管理運営計画策定			●豊岡市生物多様性地域戦略策定 ●コウノトリ野生復帰検証事業
2014(平成26)年		●みのるポット苗実証圃設置	●戸島湿地検証事業	●兵庫県立大大学院開校		●第5回コウノトリ未来・国際かいぎ『未来へ！～野生復帰のすすめ～』
2015(平成27)年	●千葉県野田市、福井県越前市、韓国(礼山郡)でコウノトリ放鳥					
2016(平成28)年	●野生コウノトリ(幼鳥)飛来	●コウノトリ育むお米が米・食味分析鑑定コンクールで金賞を受賞(ユメファーム)	●加陽水辺公園整備	●ふるさと教育のためのガイドブック作成 ●学校教育でコウノトリ育むお米を毎日使用	●豊岡市地球温暖化対策実行計画策定	●生物多様性条約COP13(メキシコ)に参加 ●JTB地球いきいきプロジェクト ●ラムサール条約湿地エリア拡大に向けた準備
2017(平成29)年	●野外のコウノトリが100羽を突破 ●47都道府県すべてで飛来確認 ●徳島県鳴門市、島根県雲南市で繁殖	●「コウノトリ育む農法」作付面積が400haを突破 ●香港にコウノトリ育むお米の輸出開始 ●「コウノトリ育むお米」が第19回米・食味分析鑑定コンクールの国際総合部門で特別優秀賞(チーム奥神)を受賞	●加陽水辺公園開設	●ふるさと教育によるコウノトリ学習開始 ●地域おこし協力隊員コウノトリ湿地ネットに受け入れ	●エコ事業所宣言制度開始	●アジア湿地シンポジウム2017に参加 ●KDDIコウノトリ生育地保全活動 ●自然再生アクションプラン策定